



平成27年12月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

平成27年11月12日

上場会社名 ピクスタ株式会社

コード番号 3416

代表者 (役職名) 代表取締役社長

問合せ先責任者 (役職名) 取締役コーポレート本部長

四半期報告書提出予定日 平成27年11月13日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有

URL <https://pixta.co.jp/>

(氏名) 古俣大介

(氏名) 恩田茂穂 TEL 03-5774-2692

配当支払開始予定日 —

上場取引所 東

(百万円未満切捨て)

1. 平成27年12月期第3四半期の業績(平成27年1月1日～平成27年9月30日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年12月期第3四半期	994	—	94	—	76	—	70	—
26年12月期第3四半期	—	—	—	—	—	—	—	—

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
27年12月期第3四半期	35.30	33.70
26年12月期第3四半期	—	—

(注) 1. 当社は平成26年12月期第3四半期については、四半期財務諸表を作成していないため、平成26年12月期第3四半期の数値及び平成27年12月期第3四半期の対前年同四半期増減率を記載しておりません。

2. 当社は、平成27年6月12日付で普通株式1株につき20株の割合で株式分割を行いました。当事業年度の期首に株式分割が行われたと仮定して1株当たり四半期純利益金額及び潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額を算定しております。

3. 当社は、平成27年9月14日に東京証券取引所マザーズに上場しているため、潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額は、新規上場日から当第3四半期会計期間末日までの平均株価を期中平均株価とみなして算定しております。

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
27年12月期第3四半期	909	510	56.1	232.44
26年12月期	460	120	26.2	30.62

(参考) 自己資本 27年12月期第3四半期 510百万円 26年12月期 120百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
26年12月期	—	—	—	0.00	0.00
27年12月期	—	0.00	—	—	—
27年12月期(予想)	—	—	—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成27年12月期の業績予想(平成27年1月1日～平成27年12月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	1,367	28.0	130	33.7	109	10.8	101	11.8	50.50

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

27年12月期3Q	2,196,440 株	26年12月期	1,800,240 株
-----------	-------------	---------	-------------

② 期末自己株式数

27年12月期3Q	— 株	26年12月期	— 株
-----------	-----	---------	-----

③ 期中平均株式数(四半期累計)

27年12月期3Q	2,004,824 株	26年12月期3Q	— 株
-----------	-------------	-----------	-----

(注)1. 当社は平成26年度12月期第3四半期については、四半期財務諸表を作成していないため、「期中平均株式数」を記載しておりません。

2. 当社は平成27年6月12日付で普通株式1株につき20株の株式分割を行っております。前事業年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、発行済株式数(普通株式)を算定しております。

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表に対するレビュー手続は終了しておりません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記載は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。

また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項については、四半期決算短信添付資料の2ページ「業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	3
(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 継続企業の前提に関する重要事象等	3
4. 四半期財務諸表	4
(1) 四半期貸借対照表	4
(2) 四半期損益計算書	5
第3四半期累計期間	5
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項	6
(継続企業の前提に関する注記)	6
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	6
(セグメント情報等)	6

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期累計期間における我が国経済は、企業収益の改善、設備投資の持ち直し、雇用・所得環境の改善等により、緩やかな回復基調が続いております。一方で、中国経済をはじめとした海外景気の下振れなど、予断を許さない状況が続いております。

当社は、インターネット上で写真・イラスト・動画等のデジタル素材の販売を主たる事業として展開しておりますが、当社を取り巻く環境としましては、スマートデバイス、スマートフォンアプリやインターネット広告（動画広告を含む）の普及に伴い、これまで以上にインターネットでのデジタル素材の活用機会が増えております。

このような事業環境のもと、当第3四半期累計期間におきましては、既存のクリエイティブ・プラットフォーム事業における購入者及びクリエイターの拡大を引き続き進めてまいりました。主に、当社の主要サービスである「PIXTA」においてSEO、SEM等によるWebプロモーションを展開した他、定額制販売の営業活動及びサイト内における訴求を積極的に行いました。また、平成27年9月14日に東京証券取引所マザーズ市場へ上場を果たし、さらなる事業基盤の強化に努めると共に、事業の拡大をより強力に推進しております。

以上の結果、当第3四半期累計期間の売上高は994,260千円（うち、定額制売上は97,581千円）、売上総利益は557,894千円、営業利益は94,477千円、経常利益は76,469千円、四半期純利益は70,767千円となりました。なお、当社は、クリエイティブ・プラットフォーム事業の単一セグメントのため、セグメントごとの記載はしていません。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第3四半期会計期間末における総資産は、前事業年度末に比べ449,727千円増加し、909,969千円となりました。

流動資産は、前事業年度末に比べ426,667千円増加し856,807千円となりました。これは主として、新規上場に伴い公募増資を行ったこと等により現金及び預金が361,708千円増加したこと、売上高の増加に伴い売掛金が50,006千円増加したことによるものであります。

固定資産は、前事業年度末に比べ23,059千円増加し53,161千円となりました。これは主に、本社フロア増床等に伴い有形固定資産が7,149千円、敷金及び保証金が14,944千円増加したことによるものであります。

(負債)

当第3四半期会計期間末における負債は、前事業年度末に比べて59,757千円増加し399,422千円となりました。これは主として、売上の増加に伴い買掛金が28,694千円増加したこと、また定額制取引の増加に伴い前受金が42,582千円増加したことによるものであります。一方、資本政策の観点から借入金を繰上返済したことにより長期借入金（1年内返済予定の借入金を含む）が7,732千円減少したことによるものであります。

(純資産)

当第3四半期会計期間末における純資産は、前事業年度末に比べて389,969千円増加し、510,547千円となりました。これは主に、新規上場に伴い公募増資を行ったこと及び新株予約権の行使により資本金及び資本準備金がそれぞれ159,601千円、また、四半期純利益の計上に伴い利益剰余金が70,767千円増加したことによるものであります。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成27年9月14日付の「東京証券取引所マザーズへの上場に伴う当社決算情報等のお知らせ」で公表した通期業績予想から変更はございません。なお、上記予想は、現在入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後の様々な要因により予想数値と異なる場合がございます。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 継続企業の前提に関する重要事象等

該当事項はありません。

4. 四半期財務諸表

(1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (平成26年12月31日)	当第3四半期会計期間 (平成27年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	259,446	621,155
売掛金	120,569	170,576
その他	50,568	65,682
貸倒引当金	△444	△606
流動資産合計	430,140	856,807
固定資産		
有形固定資産	4,173	9,526
無形固定資産	374	3,438
投資その他の資産	25,554	40,197
固定資産合計	30,101	53,161
資産合計	460,242	909,969
負債の部		
流動負債		
買掛金	200,653	229,347
未払法人税等	9,396	3,172
前受金	42,333	84,916
その他	80,557	81,985
流動負債合計	332,940	399,422
固定負債		
長期借入金	6,724	—
固定負債合計	6,724	—
負債合計	339,664	399,422
純資産の部		
株主資本		
資本金	146,278	305,879
資本剰余金	136,278	295,879
利益剰余金	△161,979	△91,211
株主資本合計	120,577	510,547
純資産合計	120,577	510,547
負債純資産合計	460,242	909,969

(2) 四半期損益計算書
(第3四半期累計期間)

(単位：千円)

	当第3四半期累計期間 (自平成27年1月1日 至平成27年9月30日)
売上高	994,260
売上原価	436,366
売上総利益	557,894
販売費及び一般管理費	463,417
営業利益	94,477
営業外収益	
受取利息	44
受取配当金	1
広告料収入	781
その他	198
営業外収益合計	1,026
営業外費用	
支払利息	104
株式公開費用	17,357
為替差損	1,572
営業外費用合計	19,034
経常利益	76,469
税引前四半期純利益	76,469
法人税、住民税及び事業税	5,701
法人税等合計	5,701
四半期純利益	70,767

(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は、平成27年9月14日付で東京証券取引所マザーズへの上場にあたり、平成27年9月13日を払込期日として、公募増資による払込を受け、新株式180,000株の発行を行い、資本金及び資本準備金がそれぞれ154,836千円増加しております。さらに、新株予約権の行使により、新株式39,600株の発行を行い、資本金及び資本準備金がそれぞれ4,765千円増加しております。

これらの要因により、当第3四半期会計期間末においては、資本金が305,879千円、資本剰余金が295,879千円となっております。

(セグメント情報等)

当社は、クリエイティブ・プラットフォーム事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。